

ごみ出しのルールとマナー

あなたは守っていますか？ 正しい「ゴミ」の出し方

本年4月から生名、岩城、弓削地区で「新しいごみの出し方」がスタートしましたが、「まだよくわからない」といった問い合わせが多く寄せられています。

そこで、ごみを出すときに間違いの多い点や気をつけていただきたいこと、守っていただきたいことをお知らせします。

●収集開始時間は8時からです

朝の8時00分から収集を開始していますので、この収集開始時間までに各家庭に配布している『家庭ごみの正しい出し方』のポスターに従って、各地区の「ごみステーション」に出してください。

●缶類と小物金属類等の収集日は違います

「ジュース缶やスプレー缶などの缶類」と、「鍋やヤカンなどの小物金属類」を分けて収集するようになりましたが、未だに一緒に出している方が多くいます。

また、「乾電池やカミソリ、カッ

ターの刃などの有害ごみ」も缶の日に出されています。

小物金属類及び有害ごみの収集日は、生名・岩城地区では偶数月の第4水曜日、弓削地区では偶数月の第4木曜日となっていますので、お間違いないようにお願いします。

●チラシは雑誌類として収集していただきます

広告（チラシ）等が未だに新聞と一緒に多く出されています。チラシ等は雑誌類として収集するようにしていますので、お間違いないようにお願いします。

●食用油は排水口に絶対に流さないでください

食用油を直接排水口に流すと、下水道管の詰まりの原因や下水処理場等の機能低下につながります。食用油は、新聞紙等にしみ込ませるか、凝固剤を使用して燃やせるごみとして出してください。

●自分の出すごみに責任を持ちましょう

未だに「指定袋に入れてない違反ごみ」が「ごみステーション」に出されていた、「自分の出した一斗缶の中に、他人から当日収集できないごみを入れられた」などといった苦情が寄せられています。

このような行為は、「自分の出すごみに責任を持っていない」ことから生まれる行為であり、決められたルールとマナーを守らないと、他の人に大変迷惑をかけることとなります。

今後は、私たち一人ひとりが自分の出すごみに責任を持って、決められた時間までに、決められた場所に、決められた分別区分に従って、ごみを出すようにしてください。



粗大「ゴミ」の出し方と処理手数料

■出し方には2つの方法があります
粗大ごみの出し方としては、「収集による方法」と「直接搬入する方法」の2つがあります。

粗大ごみの収集は、生名・岩城地区では奇数月の第4水曜日、弓削地区では奇数月の第4金曜日に実施しています。出す際には、各家庭に配布している手数料表で金額を確認のうえ、その金額分の粗大ごみシールを貼って、最寄りの収集指定場所に分けて出してください。

直接搬入は、月曜日から金曜日ま

での午後1時30分から午後4時50分までの間に受付けており、直接搬入すれば手数料が収集による金額の半額となります。直接搬入するには、自分で金額分の粗大ごみシールを貼るか、各総合支所の環境衛生担当課の窓口で金額の確認を受け手数料をお支払のうえ、クリーンセンターもしくはリサイクルセンターへ搬入してください。

■処理手数料表の見方

「手数料がよくわからない」といった問い合わせがよく寄せられますが、あまりむずかしく考える必要はありません。

配布している『粗大ごみ処理手数料』の品目から、まず自分が出した粗大ごみを見つけ出しその料金を確認してください。

例えば、食器棚を見てみますと、収集1,000円、直接搬入500円となっていますが、その食器棚の一番長い部分が50センチ×1メートル以内であれば、収集500円、直接搬入250円の手数料となります。又、自分の出したい粗大ごみが品目の中に入らない場合は、一番長い部分の長さを測って手数料を確認してください。

このように、品目で見た手数料はその品目の手数料の上限を表しており、あくまでも手数料の基本は「一辺の長さ」、一番長い部分の長さによつて決まることをご理解ください。

なお、ごみの出し方や処理手数料

等について、よくわからない場合は、各総合支所の環境衛生担当課へお気軽にお問い合わせください。

「3Rの減量化」に協力ください！

「循環型社会」を実現するために、①リデュース：発生抑制、②リユース：再使用、③リサイクル：再資源化の「3R運動」を積極的に推進していくことが大切です。

このうちのリサイクル（再資源化：加工しなおして別の製品に作り変えること）は、循環利用のために非常に重要ですが、全てのごみをリサイクルすれば環境にやさしい循環型社会が形成されるわけではありません。リサイクルには、多額の経費がかかるとともに大量のエネルギーを消費します。

従って、ごみ問題を解決するためには、まず、ごみの発生を抑制する「リデュース」、手を加えないで再度使う「リユース」から始める必要があります。

今後は、買い物に出るときはマイバッグを持参し、なるべく

「レジ袋」はもらわないようにするなど、ごみの減量化にご協力ください。



上島クリーンセンター見学

5月21日、上島クリーンセンターにおいて、弓削婦人会会員19名による見学会が行われました。

最初に町職員から施設の概要について紹介があり、DVDによる上島クリーンセンターのごみ処理の流れ及び方法等について視聴しました。

その後、施設内の制御室やゴミピット・クリーン及び破砕機などの見学をしました。婦人会の方々からは、「ゴミの出し方や分別について、未だに四苦八苦しなが行っている。今回は、私たちの生活の一部であるゴミ問題について、少しでも理解しゴミの減量化に結びつけられたい」という意見が述べられました。次回は弓削地区以外の婦人会と一緒に見学するなどゴミ問題について地域全体で考えていきたいと思います。



瀬戸内しまなみ大学

講座開催のお知らせ

水軍講座

しまなみ海道地域に息づく村上水軍の歴史、また現存する史跡・資料等への造詣を深める講座を開催します。



■日時 7月13日(日)
14時～15時30分

■場所 因島水軍城 二の丸

■講師 村上 安弘 氏

■定員 (因島文化財協会 会長)
30名程度

■参加費 無料
(申込多数の場合は抽選)

■申込期限 7月7日(月) 必着

■申込・問合せ先 はがき又はFAX・メールで申し込んでください。

〒722-8501

尾道市久保1丁目15-1

尾道市政策企画課内

しまなみ大学事務局

FAX 0848-3712740

TEL 0848-2517316

E-mail

kikaku@city.onomichi.hiroshima.jp

環境学習講座

国内初のLPGガスの地下岩盤備蓄基地で、完成すれば世界最大規模を誇る波方国家石油ガス備蓄基地の見学を通じて、限りある地球資源についての理解を深めるための講座を実施します。(LPGガスが充填される前の地下岩盤貯蔵部を見ることが出来る貴重な機会です。)

■日時 8月7日(木)
13時30分～16時

■場所 波方国家石油ガス備蓄基地

■集合 今治棧橋バス停前
(臨時駐車場・今治港沖洲多目的広場)

■定員 40名程度

■参加費 500円(しまなみ大学入学金・協賛金としていただきます。平成20年度しまなみ大学に入学金、協賛金を納付済みの方は無料です。)

■申込期限 7月28日(月) 必着

■申込・問合せ先 電話・メール、又はFAXにて名前・住所・電話番号を記入して申し込んでください。

今治市役所 企画課

TEL 0898-3611503

FAX 0898-2213441

http://www.kikaku@imabari-city.jp